

中部圏における「地域づくりの資金」に関するフォーラム  
2016年1月30日(土)

## モリコロ基金の評価、継承発展させるべきこと



後藤澄江 (日本福祉大学)

## あいちモリコロ基金

(公益信託愛・地球博開催地域社会活動基金)

- ▶ 2005年「愛・地球博」の収益をもとに2007年（平成19年）8月30日に設立
- ▶ 委託者：愛知県
- ▶ 受託者：三菱UFJ信託銀行株式会社
- ▶ 運営委員会：10名（助成先選考、重要事項の助言等）
- ▶ 基金サポート組織：ボランタリーネイバーズ（申請者支援、市民意見を基金運営に提言）
- ▶ 信託財産：金銭1,293,296,430円（当初）
- ▶ 給付方式：10年間の取り崩し方式による助成金給付
- ▶ 助成の種類：「初期活動助成」、「展開期活動助成」、「大規模活動助成」の3種

## モリコロ基金の助成対象基準の特徴

- ▶ 助成対象者：愛知県及び隣接県（岐阜県・三重県・静岡県・長野県）の5名以上のグループ又は団体。隣接県の場合は、愛知県内の団体等との共催の場合に限定
- ▶ 助成対象活動：愛・地球博の理念を継承発展させるに相応しい市民の自発的な参加に基づく社会貢献活動に助成
- ▶ 審査基準：愛・地球博の理念に沿っているか、公益的な価値が高いか、先駆的活動か、実現可能性が高いか、費用は妥当かといった審査項目
- ▶ 平成19年10月の第1回助成活動募集から毎年1億円程度を助成。年2回の募集。平成26年10月募集まで、助成件数1,288件、助成総額8億8,160万円

## モリコロ基金の評価

（『助成活動成果調査報告書』（平成27年6月刊行より）

- ▶ 市民主体による環境保護やリサイクルの推進を後押し
- ▶ 国際イベントを支えるボランティア人材の発掘・育成
- ▶ 社会福祉制度の狭間に置かれたり、制度だけでは解決できない困りごとに直面したりした人々への個別支援とともに、そのしくみの開発
- ▶ 助成団体の存在、また、取り組む社会のニーズ・課題の認知を進めることに貢献
- ▶ 事業の対象者・受益者の自信や誇り、社会参加を育成
- ▶ 地域の協力関係の構築やコミュニティづくりに寄与

## モリコロ基金運営で直面したジレンマと 継承発展の必要性

- ▶ 重い負担がのしかかる審査業務
- ▶ 事業の成果を自ら調査したという団体は少ないこと
- ▶ 助成という支援の肯定的影響と否定的影響
  
- ▶ 行政コストの削減や自助・公助が求められる時代における「地域づくり資金」としてのモリコロ基金がもうすぐ終わり→そのままではよいのか？
  
- ▶ 継承発展の必要性